

15  
12

明治三十五年七月

*Russia Turkey*

露國政府カ波斯國新公債ノ發行  
ヲ承諾スル顛末オテ領事報告ノ件

外務省

3-1235

0485

明治卅五年六月十六日發

主務 政務局

公信第八號

對第八一八七號

右白王

右白

上

總理其他

外大臣

外務省

露國政府カ波歇國新公債  
千カトルルノ發行ヲ承諾シタル願末

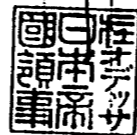
露國政府ニ於テ波歇國新公債千カトルルル  
行ニ承諾ヲ與ハタル願末并露國ト波歇國ト  
ノ往來ノ關係及兩國間通商貿易ニ關スル政  
府ノ方針本年四月十三日大藏省週報ニ掲  
載有之及之付添ニ其在矣ノ翻譯并右ニ  
添テ私見ヲ添ヘ別冊ノ通及報告ヲ各  
少査閱相成度此致申進ニ致具

明治卅五年五月五日

在外公館

在オランダ領事館

領事 飯島龜太郎



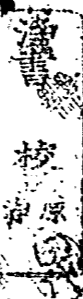
外務大臣男爵少村壽太郎殿

文書課長

明治卅五年六月二十七日發

74

松五印 乃要



公債券ノ郵報出書目

露國割引及貸付銀行ニ於テ

波斯政府ヨリ五分利付金貨公債

千万円ノ発行ヲ引渡タルノ件

波斯政府ハ露國割引及貸付銀行ニ五分利付金貨  
公債千万円ノ發行ヲ募集シ本年三月之レニ開スル  
契約ハ聖彼得堡府ニ於テ締結セラレタリ該契約ニ  
據レハ露國割引銀行ハ公債引渡タルノ報酬トシテ波斯  
政府ヨリ露領高加索ノ國境ヨリ「タウリス」(Tabriz)ニ經  
由「カスピヤ」(Kaspiya)ニ至ル東道開鑿ノ權利ト該道  
路ニ必要ナル電線ヲ布設シ之レヲ收益スルノ權トシテ  
獲得シ波斯政府ハ又公債ノ擔保トシテ岩地稅關

在外公館

ノ收入ヲ提供シ邊海期限ヲ向フ七十五ヶ年ト定メリ  
露國政府ハ別紙ニ摘要スルカ如ク本年四月十三日ノ  
大藏省週報ヲ以テ該公債發行ノ願未条件等ヲ  
繕述シ露國銀行ニ於テ此ノ公債募集ヲ承諾スルニ  
至リタルハ至ク波斯國ヲ財政困難ヨリ救ヒ英人ヲシ  
テ同國內政ニ干渉セシメサルノ目的ニ出テタルモノニシテ之  
レニ由テ露國ノ善隣ノ交誼ヲ全フシ得ルト同時ニ露  
國カ多年企圖セル露波兩國ノ貿易ヲシテ愈々進捗  
セシムルノ機會ヲ得タルモノトナシテ推賞シ而シテ此ノ如  
キ効果ヲ奏シ得タルハ至ク外交政策ノ者ヲ得タルニ因  
ルト論結セリ

右週報ヲ通讀スルモノハ露國割引及貸付銀行カ奈  
何ナル性質ノモノナルヤ及露國政府カ如何ニ露波貿易

カスピヤノ領土  
ノ首都テヘレン  
ト近接一部也

易ノ開港進揚ニ焦慮經營セシク自ラ明瞭タルヲ以テ  
テ之ニ賛セトシ露モ露國政府ヲシテ特選ニ官報ヲ以テ  
テ此ノ如キ宜言ヲ為サシムルニ至ラシメタルノ間レテハ  
カ裏面ノ消息ノ存スルモノヤニテ勿論露國ノ地理  
ヨリ云ハハ海陸兩道ヲ利用シ波斯トノ貿易ノ開港  
シ其過剩セル商品ノ販路ヲ開拓スルノ急務ナル言  
ヲ旋タスト露モ露國政府カ一方ニ於テハ外債募集ニ  
依テ僅カニ其財政ヲ整理シ謀リテハ實際ニ方リ如何ニ  
善隣ノ交誼ヲ重ムルトハ云ハ僅々ニケ年ノ内數回ノ  
公債發行ヲ承諾シ波斯ニ巨額ノ資金ヲ付與セルハ  
豈ニ唯々通商開港ノ目的ノハナランヤ由來波斯ハ英  
露兩國ノ勢力競争場裡ニシテ本年三月英人資本  
本家ヨリ成ル歐羅巴印度電線會社カ波斯政府ヨ

在外公館

リ  
ニ露ニ電線架設ノ權ヲ獲得シ嗣ヒテ豫洲露  
露家列レシナル者ガ全國內ケルカー河(Karkhar)  
沿ヒタル溪間一面及其東南ニ方リ、バンデル、ブニール  
附近一面ノ地ニ於テ石油採掘權ヲ獲得セリトノ報道  
ニ接スルヤ露國政府ノ波斯ニ對スル政策ニ満足セサ  
ルノ論者ハ大ニ憤慨シ殊ニハ露ニヤ新聞ノ如キ  
ハ再三其社説欄内ニ於テ波斯經營ノ後ニスハカラ  
カルヲ痛論シ差シ現時ノ如ク退縮政策ヲ執  
ルニ於テハ左國ニ於ケル露ノ勢力ハ漸次減少シ英人  
ヲシテ蓋シ陸路ヲ權ニセシム遂ニ露國積年ノ  
經營ヲシテ水泡ニ帰セシムベシ而シテ露國ハ前年  
波斯政府ヨリ露ノ承諾ナキ限リ、他國ニ對シ鐵道

敷設ノ權利ヲ許容スルナキヲ締結セシメタルモ此ノ  
 締約ハ甚ク不完全ニシテ遂ニ今回英人ヲシテ電  
 線架設ノ權利ヲ獲得シ南西波斯ニ於テ右田採掘  
 事業ヲ開始スルノ機会ヲ與ヘシメタリ若シ英人ニシ  
 テ半額一步ヲ進メ獨佛資本家ノ共管ニ係ル中央  
 小亞細亞ノバグダシ鉄道ニ投資スル場合ニ至ラハ英  
 人ノ勢力ハ益々強固トナルバク事業ニ至ラハ露國勢  
 カノ樹立進暢ハ又期スバカラサルニ至ラント説キ大外  
 交當局者ノ無爲政策ヲ執斷セリ此ニ於テ半政府  
 當局者ハ心中漸ク平カラズ今田ノ新公債發行ヲ利  
 用シ情ニ自家政策ヲ弁護スル爲メニ前題週報  
 ニ於テ露國政府カ波斯ニ對スル經營ヲ曾テ芽菜  
 ニ附シタルヲナキノミヤクム 既往ニケ年ニ於テ施設セル在  
 在外公館

番ハ著々其功ヲ奏シタルヲ明カニシ以テ其政策ノ  
 存タル所ヲ表示スルニ至リタルナリ然ルニ又一方英國ハ  
 ノ輿論ヲ顧ルニ露國カ著々波斯ノ經營ニ盡心  
 露領オアフガ港波斯灣トニ定期航海ヲ開始シ道路  
 ノ開發權ヲ獲得シ又軍事上最モ注目スヘキアレキ  
 カンドロポール、エリバン (Alexandrapol, Erivan) 間ノ鐵道竣  
 工期限ノ速カニ本年夏期ニ繰上ケ更ニ進ラテアリ  
 ハレキトハ波斯國境ノテイルフ (Ardabil) ニ鐵道連絡ヲ  
 備カリ且ツ近期航海開始後露艦ハ依り軍器銃砲  
 ノ輸入アリトノ風説サハ高ヨリ露國ニレテ一朝波斯  
 灣トニ連絡ヲ完成シ南進ノ基礎ヲ固ムルニ於テ印  
 度ノ防禦ハ甚ク困難ニ陥ルナルベシト憂慮シ居レル  
 カ如シ今ヤ波斯王ハ將ニ歐土ニ向ワテ發足セントシフ、

アリ王ノ旅行ハ果レテ無意味ノモノナルヤ特々東面ニハ何等  
 政治上ノ消息ヲ替ハモノナルヤ又レヲトスルハ時機ニアラスト  
 虽モ要スルニ左國ノ將來及左國ニ於ケル英露勢力ノ一  
 進一退ハ向後漸ク世人ノ注意ヲ惹クニ至ルナルヤシ

在外公館

3-1235

0490

露國政府ハ本年四月十三日発行した蔵者  
週報ニ於テ政府カ數次波歇國ノ公債ヲ  
引渡ケタル顛末并露國ト波歇國トノ關  
係及兩國間ノ通商貿易ニ関スル政府ノ方  
鍼ト外交政策ノ結果トヲ明瞭ニ表示セリ  
今ニ其全文ヲ記述セハ左ノ如シ

柳々露國ト波歇國トハ旧來親密ノ關係ヲ有  
シ露國ノ貿易ハ波歇國ノ經濟上ニ至大ナル  
勢力ヲ有シ來リタリ刺サハ輒近二年間波歇國  
カ理財上ノ紊亂ヲ來タシ國家危急ニ陥リタ  
ル際露國ハ善隣ノ故ヲ以テ彼レヲ救済シ  
タルノ事情アリテ兩國間ノ交誼ハ益々深厚  
ナリ

在外公館

ヲ加フルニ至レリ  
回顧スレハ波歇國ハ既ニ千八百九十五年九月中  
國庫ノ匱乏ヲ告ケテ之ヲ補充センカ爲メ外債ヲ  
起コスノ必要ヲ感シ初メ之ヲ英國人間ニ募  
集セント蓄リシカ漸然其拒絶スル所ト爲リ遂  
ニ轉レテ露國資本家ノ力ヲ假リテ之レヲ募  
集スルノ意ヲ惹起シタリ  
然ルニ千八百九十六年波歇國王「エド」ガ  
薨去スルニ際シ外債募集ノ計畫ハ一時停止ス  
ルニ至リ嗣テ「エド」ガ子「エド」王位ニ登リ以テ爲リ  
外債ヲ募集スルハ徒ラニ國家ノ負擔ヲ重セ  
クシ國家經濟上大ニ不利ナリ  
内國財源ヲ以テ政府ノ負債ヲ銷却セシメ

番カレリ然レモ千八百九十七年九月ニ至リ波  
國ハ結局外債ヲ興スニテラザレバ到底現時ノ  
財政ヲ整理スルノ道ナキニ至リタレモ王ハ尚ホ外  
債ノ事ヲ成ルバクモ自國ト直接關係ヲ有ス  
ル強國即チ露國及英國ノ手ヲ假ラズシテ寧  
ロ國國若クハ佛國ノ銀行家ニ依頼シテ公債  
ヲ募集スルノ良好安当ナルイテ思惟シテ之レヲ  
兩國ノ有力家ニ協議シタリ而シテ佛國政府  
ハ此際全國市場ニ於テ波國公債ヲ募集ス  
ルイテ拒絶シタルヲ以テ此ノ計畫ハ遂ニ水泡ニ歸  
セリ

其ノ時ニ至リ波國政府ハ一方ニハ旧債主ノ督促  
ニ遭ヒ他方ニハ國費多端ニ窘ミ進退難儀  
在 外 公 館

リ其處ス所ヲ知ラカレ場合ニ至リ加フルニ英國  
イムバイアトバングラオヤルシテハ其旧債ニ係ル分及  
千八百九十一年二月中政府ニ貸渡シタル負債  
五万磅ヲ合併シテ其擔保權ノ実行ヲ促カレ波  
國政府ニ遂ニ全國南部稅關ヲ擧ゲテ英人ノ  
手裡ニ割渡スルニムラ得ケル場合ニ立到リ爾來  
稅關手續續業終ニ日態ヲ劇變セシテ以テ一般  
民ハ其不便ヲ感スルト共ニ外人ヲシテ内政ニ干渉  
セシムルノ政府ノ失態ヲ憤慨シ物議紛々タルノ有  
様ナリキ而シテイムバイア銀行ハ是等事情ナル  
ニモ拘ハラカ政府ニ迫リ速カニ二月中償還シタル五  
万磅ノ銷却ヲ請求シ若シ遲延スルトキハ稅關  
監督ノ權ヲ六ヶ年間繼續セシムバシト主張シ



其後ニ至リテハ其ニ其要求ヲ進メラシメテ負債  
 金額十五万磅ヲ返済スルニテラサレバ税関監督  
 ノ權ヲ撤回セサルベシト迫レリ是ニ於テカ彼斯國  
 政府ハ英國人ノ要求尙酷ニシテ之レト交渉カルノ  
 効ナキヲ悟リ翻ツテ露國政府ニ向ツテ焦眉ノ急ヲ  
 援ハンカ爲メ一時ハムボクヤ銀行ニ返還スルキ至員  
 ヲ借入レンイッテ懇請シテ措カス仍テ我政府ハ  
 千八百九十年九月中之レカ韓益ノ勞ヲ取リ彼斯  
 國ニ於ケル露國割引及貸付銀行ノシテ百五十  
 万ポンドヲ波斯政府ニ貸渡シ其擔保トシテ  
 全國北部税関及東海通商權ヲ以テ之ヲ提供  
 セシメタリ然レトモ該金額ニ當テ時財政窮乏  
 費途多端ノ境遇ニ存リシ波斯政府ヲ救済スル  
 在 外 公 館  
 ニ是ヲカケル勿論ナリキ是ニ於テキ波斯政府ハ千  
 八百九十九年ノ秋再ヒ露國ニ謀ルニ國債募集  
 ノ事ヲ以テス而シテ遂ニ露國ハ之レヲ補助シ公債充  
 行ノ契約ヲ訂結シタリ此ノ公債ハ其金額二千二  
 百五十万ポンドトシテ千九百年波斯五分利付金貨  
 公債ト稱シ千九百年一月ヲ以テ前記割引及貸  
 付銀行ニ發行セシメ償還期限向テ七十五年間トシ  
 千九百十年以後ニ於テハ波斯政府ニ期限前贖却  
 ノ權利ヲ保留セシメタリ  
 該公債ノ擔保ハ波斯國全税関(在シカアルニスタレ  
 (Bath of Constantinople) 税関并ニバルシヤ灣ノ方面税関(除ク  
 ノ以テ之ヲ充テ割引銀行ハ波斯國全庫タルノ  
 資格ヲ保有シ是等收入金ヲ回收スルノ權ヲ維持

トルノ契約ヲ以テセリ今ヤ波那國ノ稅關官吏ニ白  
 耳執人ヲ招聘シ特ニ稅關長ヲウケスレ氏カ專ラ  
 事務ノ整理ヲ謀リタルヲ以テ其收入ノ増加シ  
 公債ノ整理ニ充ルノ外尙ホ餘額ヲ生ズルニ至レリ  
 尤モ割引銀行ハ其擔保トシテ稅關検査監督  
 ノ權ヲ有スルカ故ニ必要ノ場合ニ於テハ直接ニ  
 引取ルノ權ヲモ規約レ置ケリ且又波那政府ハ該  
 公債ヲ有ル所ノ金額ヲ以テ露國日債ヲ銷  
 却スルノ義務ヲ有シ又該公債ノ償還ヲ果スル迄  
 ハ割引銀行ノ承諾ヲ經カレバ今後如何ナル長  
 期限ナリトモ外債ヲ募集セサルヲ結約セリ  
 遠近ノ公債ヲ締結シタルカ爲メ日米露波四  
 國間ニ存在セシ親交ハ益増進シ又其結果ト  
 シテ露波貿易上ニモ非常ノ影響ヲ及スルニ  
 至レリ  
 波那國ノ前造幣局長ニコリシハ曾テ在國理財上ニ  
 露國ノ干渉ヲ拒ミタル人ナリシカ該公債締結後即チ  
 十九百一年ニハ既ニ其職ヲ免セラレ白耳義人ニシテ  
 試ニ替リテ同白ヲ監理スルト爲リ同年秋ノ頃ニ至  
 リ露國利シ露國銀行ハ同造幣局ヨリ巨額ノ銀塊  
 ノ注文ヲ受ケケレシテ全國ニ輸送セルノ事ハ以テ兩國  
 間親交ノ復旧セシ一班ヲ証スルニ足ランカ  
 然レテ又十九百年ノ該公債ノ発行ニ付最も多大ナル  
 影響ヲ得タルハ割引銀行ノ充達ニシテ同行ハ  
 其業務ヲ擴張シ既ニ十九百一年間ヲケケルニ市  
 ノ市場ニ新事務所ヲ開キ又外ウリガ及レシトニ支

在外尖館

店ヲ設置セリ尚ホ又メシハードル及ノイスアガシニモ  
 支店ヲ設クルノ計畫ナリト云フ加フルニ同銀行ハ其  
 事業ノ擴張ト共ニ露國波斯間通商貿易ノ  
 発達ニ付鹽痺シ居レリ今其一例ヲ舉グバ同  
 銀行ハ時々波斯國向キ商貨ノ見本ヲ露國莫  
 斯科市貿易商間ニ送り或ハ自己ノ營業トシ或  
 ハ他ノ注文ニ應シ露國產貨ヲ波斯ニ引キ尚ホ一  
 歩ヲ進メテ莫斯科ハクシ及其他ノ都會ニ貨物  
 取扱店ヲ開設シ專ハラ露波通商ノ便利ヲ圖ル  
 筈ナリト云フ最近ノ報道ニ據レハ同銀行ハ兩國間ニ  
 於ケル陸路貿易ノ発達ヲ沮害セシハ主トシテ道路ヲ  
 交通ノ不便ニ因ラレルハナキヲ以テ其必要ノ道路ヲ  
 開鑿スルノ事業ニモ徑事スルト為セリト

在外公館

抑々露國貿易カ波斯ノ北部ニ於テ往來首班  
 シ占メタルハ論ヲ殊タスト焉モ之レニ及シテ其南  
 方特ニ波斯灣ノ諸港ニ於テ蕃靡振ハサルノ  
 感ナキニアラス是レ主トシテ海運ノ便ナキニ其因  
 セヤルハナシ蓋シ露國ノ貿易品ハ重モニ北部國境  
 ナリ波斯ニ輸送セシテ以南ハ漸クイニズカシ市ニ  
 終巨トシテ其以南ノ地ハ左ク其形跡ヲモ止メサルノ姿  
 ナリナ何トナレハ然ラ地等商貨ハ陸路運搬ノ費用  
 ヲ要スルカ故ニ其價昂騰シテ到南南海路ナリ  
 輸入ニ米ハ外品ト競争スルヲ得タルカ為ナリ是ニ  
 於テカキ九月年ノ末ニ方リ露國ト波斯灣トノ航路  
 ヲ開キ波斯國南方ノ市場ニ於テ露國產貨ノ質  
 易ヲ試シントスルノ計畫アリ即チ露國政府ハ

一、著トシテ千九百一十一年一月一七迄航ヲ職仕タルノ  
 議一決シテ行セシメテ爲メ露國土産品ノ輸出ニ  
 種々輸出商ノ便宜ヲ圖カシテ航路開始ノ業  
 ルノミナラス商業家ヨリ自身ノ代理ノ同航ニ集  
 シテ親シク該航ノ商況ヲ偵察スルノ便宜ヲ共ニ  
 タリ同航積載貨物ハ四万七千トド余ニ達スル  
 重要品ハ石油、砂糖、陶器、製造品等アリ、露  
 科市商人中ヨリ、數多ノ代理人ヲ僱集セシメテ、以  
 ノ第一航ニ充テタル該航ハ、コレヨリ二月三日  
 フダツサ、港ヲ充シ五月十日ヲ以テ同航ニ帰着シ  
 タリ而レテ該航海ニ於ケル經濟上ノ結果如何ト云フ  
 在 外 公 館

ニ試験トシテ、空ニ好成績ヲ得ケル會社ハ、往復航  
 路ヨリ二万ルルノ運賃ヲ取得シ、トモ  
 第一航路、同年八月、オデッサ、出航トセリ、但レ同時期  
 ニハ、該航ヨリ復航ニ際シテ、同國ハツサ、港ニ寄航  
 シ、第一航(貨物)ヲ搭載シ、露國ハ、輸送スルノ計畫  
 ナレバ、カリ、北ノ航路ニハ、特ニ建築材、并ニ板箱ヲ輸出シ  
 ラ、之レハ、該航ノ市場ニ試験スルモノナリ、キ故ニ、其板  
 箱ノ運賃ヲ、甚低ニ付十五哥ト定メ、コレノ度、之前  
 同様、コレニ、コレノ航路ヲ以テ、航路開始ト爲シ、即チ、千九百  
 一十一年八月二十九日、オデッサ、港ヲ解纜シ、同年七月ノ  
 末ニ歸航セリ、同航ニ積載セシ貨物ハ、石油、砂糖、  
 製造品、陶器等、外ニ、材木ヲ加ヘ、其數量ハ、八万ト  
 一トシ、之レヲ、經濟上ノ結果トシテ、會社ハ、往復航路

五万五千噸に收得あり其後千九百二年間  
 於テハ益々同航路ノ擴張ヲ審リ四回航海ノ開ク  
 一ツ議決セリ即チ其第一航トシテ本年一月十二日ヨリ  
 ニーロフ群ハ八万トドノ貨物ヲ搭載シテオテアサ  
 漢リ出航シ其收得運賃ハ往航ノミニシテ三万四千  
 六百六十五トドナルト云フ航クテ此ノ航海ニ對スル  
 我商船ノ景況如何ト云フニ始メハ波斯國ノ諸市  
 場ニ於テ商船取引上及金錢支拂上ニ關シ多少  
 ノ故障ヲ惹起シタルトモヤキニ非ラズ然レモ是  
 等ハ畢竟其地ノ事情ニ暗ク商業習慣  
 ヲ知ラサルニ基因シタル結果ニ過キズシテ今ヤ我  
 貿易專家ハ是等ノ細密ナル調査ヲ遂ケ波  
 斯貿易ノ將來有望ナルト認メ既ニ數多ク支  
 店又ハ代理店ヲ彼地ニ開設スルノ運ニ至レリト  
 云フ

以上述べハタルハ露波兩國間ニ於テ通商貿易  
 ノ現状ナリ今暫ク之ヲ差置キ其後露國ト波  
 斯國ノ關係如何ニ就テ論センニ斯クテ波斯  
 政府ハ千九百一年ノ末再ニ財政ノ困難ヲ来セシ  
 マリ蓋シテ千九百年國債ノ過半ハ日債ノ銷却ニ  
 消費セシ理由アルカ故ナリト云フ此ノ際英國ハム  
 パイナル銀行及英國人カトルーノ石油採掘事業  
 ニ關係シタル資産家ハ波斯政府ニ勧誘スルニ公  
 債發行ノ事ト彼等之レニ應接セシテ以テセリ  
 然レニ政府ハ断然之レヲ拒絶シテ更ニ露國割引  
 銀行ニ謀リ復々又國債募集ノ事ヲ依頼セリ

在外公館

而シテ其結果千九百二年三月遂ニ新公債發行  
 議議經テキルニテ波斯五方利付金貨公債ト  
 シテ名義ノキニ千九百二年ノ公債ヲ發行スル  
 ト爲リ但シ其條件ハ千九百二年ノ契約ト同一  
 テ其時ノ如ク稅関收入金ヲ割当トシテ向テ七十五  
 年間ノ銷却期限ヲ定メ且又此ノ新公債ヨ  
 リ取得シタル金額ヲ以テ總テ旧債ヲモ償還シ  
 該公債ノ贖却ヲ了スル迄ハ割利銀行ノ承諾ヲ經  
 サレバ他ニ外債ヲ募集セカレノ契約ヲ結ビタリ  
 割利銀行ハ該公債ヲ締結スルニ伴ヒテ高加  
 斯レノ國境ヨリケウリズレテ經テカズウヤンニ至ル車  
 道開鑿及收益ノ權利ヲ得（ケウランヨリ一方ハ  
 カズウヤン一方ハエンセルニ至ル車道ハ既ニ敷設セラル  
 在 外 公 館  
 國ノエンセルケウラン道路會社ニ屬ス）又該道路  
 ノ必要上電線ヲ布設シテ之ヲ收益スルノ權ト此ノ道路  
 ニ就テ總テ同政府ヨリ道路稅ヲ免セラル、權トヲ獲  
 得セリ  
 這取割利銀行ハ開鑿セラルル道路ノ  
 利益タルヤ實ニ將來我貿易ノ充達ニ於テ大ナル  
 關係ヲ有スル者ナリ何トナレバ波斯國ニ於テハ貿易  
 ノ中心点ニシテ總テ其北部及中央部ニ輸送スル  
 貨物ハ皆悉ニ轉輸シ同所ヨリ各地ニ分配輸  
 送セラルレバナリ從テ露國ノ境ヨリケウリスレニ至ル  
 間ハ道路條惠ニシテ貨物運搬特ニ不便ヲ極メ爲  
 メニ通商貿易ノ充達ヲ妨ケ居タリモ此ノ道路  
 開通ノ曉ニハケウリスレ市場ニ於ケル我貿易者ニ

タウリト経済上ノ關係ヲ有スル者所市場カ向後  
 至大ノ進歩ヲ見ルハキヤ疑ヲ容レサルナリ  
 以上總述シタル事實ニ據リテ之レヲ論結スル觀  
 近二年間波斯ニ對スル露國ノ政界ハ長足ノ進  
 歩ヲ顯ハレ最モ好結果ヲ呈シタル者ト云ハカルタ  
 得ズ。是レ畢竟タルニ露國カ一方ニ於テハ屢ニ波  
 斯國ヲ財政困難ヨリ救ヒ國家ノ經營ヲ完備セシ  
 メ依テ以テ兩國間ノ交誼ヲシテ益親密ナラシ  
 ムルノ政策ヲ執リタルト他方ニ於テハ波斯ニ於ケル  
 露國ノ貿易ヲシテ南北ニ方面ヨリ進行シ得ベ  
 キ兩軌道ヲ開拓執興スルノ政界ヲ執リタルニ由ラ  
 ムレバアラス

在外ハニ

成績ニ就テハ我外務省々常ニ經濟上ノ根原ニ  
 傾意著眼シ一ハ外交政界ノ宜シキヲ得タルト一  
 ハシゲラレニ於ケル我公使館差クハ領事館ノ  
 措置者ヲ得タルカ爲メイランレ民族ヲシテ露國  
 ヲ信賴教慕スルノ念ヲ抱カシメタルトニ基因スルモ  
 ナリ